

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 大木記念女性のための菊池がんクリニック  
(PC 3150970)

活性NK細胞療法の治療の流れ 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時00分 ~ 12時10分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、大木記念女性のための菊池がんクリニックとは利害関係なし)

議題 大木記念女性のための菊池がんクリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に菊池 義公院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、大木記念女性のための菊池がんクリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時10分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 大木記念女性のための菊池がんクリニック  
(PC 3150971)

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時00分 ~ 12時10分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、大木記念女性のための菊池がんクリニックとは利害関係なし )

議題

大木記念女性のための菊池がんクリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に菊池 義公院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、大木記念女性のための菊池がんクリニックでは、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながるよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時10分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 大木記念女性のための菊池がんクリニック  
(PC 3150972)

## 活性T細胞療法の治療の流れ

40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

## 資料受領年月日

西暦 2017年 2月 10日(金)

## 開催日時

西暦 2017年 2月 14日(火) 12時00分～12時10分

## 開催場所

れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

## 出席者

(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、大木記念女性のための菊池がんクリニックとは利害関係なし)

## 議題

大木記念女性のための菊池がんクリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に菊池 義公院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、大木記念女性のための菊池がんクリニックでは、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時10分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

# 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

創見皮フ科クリニック  
( PC 3150991 )

**活性NK細胞療法の治療の流れ** 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

**資料受領年月日** 西暦 2017年 2月 10日(金)

**開催日時** 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時10分 ~ 12時20分

**開催場所** れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

**出席者**  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、創見皮フ科クリニックとは利害関係なし )

**議題**

創見皮フ科クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

**議事**

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に大浦 澄夫院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

**審議結果**

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの活性NK細胞療法の治療実績から、今後活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時20分に閉会を宣言した。

**認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称**

**所在地** 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

**名称** 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： もりぞの内科  
( PC 7150291 )

活性T細胞療法の治療の流れ 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時20分～12時35分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者 (委員 6名)  
(事務局 1名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

( 委員 6名とも、もりぞの内科とは利害関係なし )

議題 もりぞの内科による再生医療等提供状況定期報告について

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に森園 茂明院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの活性T細胞療法の治療実績から、今後活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時35分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： もりぞの内科  
( PC 7150290 )

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時20分 ~ 12時35分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

( 委員 6名とも、もりぞの内科とは利害関係なし )

(事務局 1名)

議題 もりぞの内科による再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に森園 茂明院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの新樹状細胞ワクチン療法の治療実績から、今後新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時35分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： **もりぞの内科**  
( PC 7150289 )

**活性NK細胞療法の治療の流れ** 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

**資料受領年月日** 西暦 2017年 2月 10日(金)

**開催日時** 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時20分 ~ 12時35分

**開催場所** れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

**出席者**  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、もりぞの内科とは利害関係なし )

**議題** もりぞの内科による再生医療等提供状況定期報告について

**議事**

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に森園 茂明院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

**審議結果**

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの活性NK細胞療法の治療実績から、今後活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時35分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 旭川高砂台病院  
(PC 1150095)

活性NK細胞療法の治療の流れ 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時35分 ~ 12時45分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者 (委員 6名)  
(事務局 1名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(委員 6名とも、旭川高砂台病院とは利害関係なし )

議題 旭川高砂台病院による再生医療等提供状況定期報告について

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に恩田 芳和院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、旭川高砂台病院では、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時45分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会



## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

旭川高砂台病院  
(PC 1150096)

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う。

資料受領年月日

西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時

西暦 2017年 2月 14日(火) 12時35分 ~ 12時45分

開催場所

れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者

(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、旭川高砂台病院とは利害関係なし)

議題

旭川高砂台病院による再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に恩田 芳和院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、旭川高砂台病院では、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよりますが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時45分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地

愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称

医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

旭川高砂台病院  
(PC 1150097)

## 活性T細胞療法の治療の流れ

40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

## 資料受領年月日

西暦 2017年 2月 10日(金)

## 開催日時

西暦 2017年 2月 14日(火) 12時35分～12時45分

## 開催場所

れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

## 出席者

(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、旭川高砂台病院とは利害関係なし)

## 議題

旭川高砂台病院による再生医療等提供状況定期報告について

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に恩田 芳和院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、旭川高砂台病院では、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時45分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 土橋病院  
( PC 7150292 )

**活性NK細胞療法の治療の流れ** 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

**資料受領年月日** 西暦 2017年 2月 10日(金)

**開催日時** 西暦 2017年 2月 14日(火) 12時45分 ~ 13時00分

**開催場所** れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

**出席者**  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、土橋病院とは利害関係なし )

**議題** 土橋病院による再生医療等提供状況定期報告について

**議事**

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に土橋 美子院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

**審議結果**

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの活性NK細胞療法の治療実績から、今後活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時00分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

土橋病院  
( PC 7150293 )

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 3月 4日(土)

開催日時 西暦 2017年 3月 7日(火) 13時30分 ~ 13時40分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

( 委員 6名とも、土橋病院とは利害関係なし )

(事務局 1名)

議題

土橋病院による再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に土橋 美子院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、土橋病院では、現在他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時40分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 土橋病院  
( PC 7150294 )

活性T細胞療法の治療の流れ 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 3月 4日(土)

開催日時 西暦 2017年 3月 7日(火) 13時30分～13時40分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者 (委員 6名)  
(事務局 1名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

( 委員 6名とも、土橋病院とは利害関係なし )

議題 土橋病院による再生医療等提供状況定期報告について

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。  
原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に土橋 美子院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、土橋病院では、現在他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時40分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

大和田ファミリークリニック  
(PC 3151052)

活性NK細胞療法の治療の流れ 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時00分 ~ 13時10分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、大和田ファミリークリニックとは利害関係なし )

議題

大和田ファミリークリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に大和田 章院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、大和田ファミリークリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出していきたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時10分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： **のだ内科クリニック**  
(PC 3151075)

**活性NK細胞療法の治療の流れ** 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

**資料受領年月日** 西暦 2017年 2月 10日(金)

**開催日時** 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時10分 ~ 13時20分

**開催場所** れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

**出席者**  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
(事務局 1名)	井上 克也		

( 委員 6名とも、のだ内科クリニックとは利害関係なし )

**議題** のだ内科クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

**議事**

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に野田 嘉明院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

**審議結果**

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、のだ内科クリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時20分に閉会を宣言した。

**認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称**

**所在地** 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

**名称** 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：のだ内科クリニック  
(PC 3151076)

**新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ** 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

**資料受領年月日** 西暦 2017年 2月 10日(金)

**開催日時** 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時10分 ~ 13時20分

**開催場所** れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

**出席者**  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、のだ内科クリニックとは利害関係なし)

**議題**

のだ内科クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

**議事**

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に野田 嘉明院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

**審議結果**

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、のだ内科クリニックでは、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないように注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時20分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会



## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： のだ内科クリニック  
( PC 3151077 )

活性T細胞療法の治療の流れ 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時10分～13時20分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七兵	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、のだ内科クリニックとは利害関係なし)

議題

のだ内科クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に野田 嘉明院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、のだ内科クリニックでは、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時20分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

此花町浦田クリニック  
( PC 4150328 )

活性NK細胞療法の治療の流れ	40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。
----------------	---

資料受領年月日	西暦 2017年 2月 10日(金)
---------	--------------------

開催日時	西暦 2017年 2月 14日(火) 13時20分 ~ 13時30分
------	------------------------------------

開催場所	れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室
------	--------------------------

出席者 (委員 6名)	委員長	原 健一郎	男性	c.一般
	副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
(事務局 1名)		内藤 七民	男性	a.医学・医療
		神戸 正臣	男性	a.医学・医療
		熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
		藤岡 寛	男性	c.一般
		井上 克也		

( 委員 6名とも、此花町浦田クリニックとは利害関係なし )

議題	此花町浦田クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について
----	--------------------------------

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に納藤 眞生院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、此花町浦田クリニックでは他社で免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたと推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時30分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の 所在地及び名称	所在地	愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階
	名称	医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

此花町浦田クリニック  
( PC 4150329 )

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時20分 ~ 13時30分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、此花町浦田クリニックとは利害関係なし )

議題

此花町浦田クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に納藤 眞生院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、此花町浦田クリニックでは他社で免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたと推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時30分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 此花町浦田クリニック  
( PC 4150330 )

活性T細胞療法の治療の流れ 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時20分～13時30分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、此花町浦田クリニックとは利害関係なし )

議題

此花町浦田クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に納藤 眞生院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、此花町浦田クリニックでは他社で免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたと推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時30分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：**海風診療所**  
( PC 6150199 )

**活性NK細胞療法の治療の流れ** 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

**資料受領年月日** 西暦 2017年 2月 10日(金)

**開催日時** 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時30分 ~ 13時40分

**開催場所** れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

**出席者**  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、海風診療所とは利害関係なし )

**議題** 海風診療所による再生医療等提供状況定期報告について

**議事**

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。  
原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に沼田 光生院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

**審議結果**

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、海風診療所では、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながるよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時40分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 海風診療所  
( PC 6150200 )

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時30分 ~ 13時40分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、海風診療所とは利害関係なし )

議題 海風診療所による再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に沼田 光生院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、海風診療所では、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時40分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 海風診療所  
( PC 6150201 )

活性T細胞療法の治療の流れ 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時30分～13時40分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、海風診療所とは利害関係なし)

議題 海風診療所による再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に沼田 光生院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、海風診療所では、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時40分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称：

立花クリニック  
( PC 6150191 )

活性NK細胞療法の治療の流れ	40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。
----------------	---

資料受領年月日	西暦 2017年 2月 10日(金)
---------	--------------------

開催日時	西暦 2017年 2月 14日(火) 13時40分 ~ 13時50分
------	------------------------------------

開催場所	れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室
------	--------------------------

出席者 (委員 6名)	委員長	原 健一郎	男性	c.一般
	副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
(事務局 1名)		内藤 七民	男性	a.医学・医療
		神戸 正臣	男性	a.医学・医療
		熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
		藤岡 寛	男性	c.一般
		井上 克也		

( 委員 6名とも、立花クリニックとは利害関係なし )

議題	立花クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について
----	-----------------------------

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に仲田 裕院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、立花クリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時50分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地	愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階
名称	医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会



## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 立花クリニック  
( PC 6150192 )

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時40分 ~ 13時50分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、立花クリニックとは利害関係なし )

議題 立花クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に仲田 裕院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、立花クリニックでは、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時50分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 立花クリニック  
( PC 6150193 )

活性T細胞療法の治療の流れ 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時40分～13時50分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者 (委員 6名)  
(事務局 1名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

( 委員 6名とも、立花クリニックとは利害関係なし )

議題 立花クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

## 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に仲田 裕院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

## 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、立花クリニックでは、過去に他の免疫細胞療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時50分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 野口記念インターナショナル画像診断クリニック  
( PC 3150819 )

活性NK細胞療法の治療の流れ 40ccの採血(1回分)から約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時50分 ~ 14時00分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、野口記念インターナショナル画像診断クリニックとは利害関係なし )

議題

野口記念インターナショナル画像診断クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に佐藤 俊彦院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、野口記念インターナショナル画像診断クリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、14時00分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 野口記念インターナショナル画像診断クリニック  
(PC 3150820)

新樹状細胞ワクチン療法の治療の流れ 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う

資料受領年月日 西暦 2017年 2月 10日(金)

開催日時 西暦 2017年 2月 14日(火) 13時50分～14時00分

開催場所 れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

出席者  
(委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

(委員 6名とも、野口記念インターナショナル画像診断クリニックとは利害関係なし)

議題

野口記念インターナショナル画像診断クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に佐藤 俊彦院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、野口記念インターナショナル画像診断クリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、14時00分に閉会を宣言した。

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

## 認定再生医療等委員会 議事録

再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称： 野口記念インターナショナル画像診断クリニック  
( PC 3150821 )

### 活性T細胞療法の治療の流れ

40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

### 資料受領年月日

西暦 2017年 2月 10日(金)

### 開催日時

西暦 2017年 2月 14日(火) 13時50分～14時00分

### 開催場所

れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

### 出席者 (委員 6名)

委員長	原 健一郎	男性	c.一般
副委員長	吉岡 真弓	女性	a.医学・医療
	内藤 七民	男性	a.医学・医療
	神戸 正臣	男性	a.医学・医療
	熊田 均	男性	b.法律・生命倫理
	藤岡 寛	男性	c.一般
	井上 克也		

(事務局 1名)

( 委員 6名とも、野口記念インターナショナル画像診断クリニックとは利害関係なし )

### 議題

野口記念インターナショナル画像診断クリニックによる再生医療等提供状況定期報告について

### 議事

原 健一郎委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。

原 健一郎委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。

(事務局は、事前に佐藤 俊彦院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき委員6名に伝えた。)

※ 議事の内容は、添付書類議事録の内容を参照。

### 審議結果

再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、野口記念インターナショナル画像診断クリニックでは、過去に当該療法を実施しており、その際に安全性の確保並びに治療効果の評価法が設定されていたことが推測できます。今後、当該療法を対象者へ適用する際は、それらの蓄積データを基に再生医療等提供状況定期報告書を提出して頂きたいと考えます。また、再生医療等の安全性についての評価並びに科学的妥当性についての評価に記載漏れがないよう、カルテなどにそれらを記入して頂くことが望ましい。又、がんの種類にもよるが、免疫細胞療法は医薬品に比べて効果が発揮されるまでに時間が掛かることがある。その為過小評価につながらないよう注意が必要である。近年ではそれらを考慮したRECISTと異なる効果判定基準であるirRCやirRECISTに基づいた評価も検討されているので今後はそれらを提案していきたい。当該療法を受けることに関する決定権は、医療を受ける患者が有す(一身専属権)。医師が医療行為を行うには、医療契約とは別に原則としてその具体的な医療行為につき患者から同意を得ることが必要であることの再確認をするよう意見を述べた。今後、活性T細胞療法の対象者へ適用すること(上記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、14時00分に閉会を宣言した。

### 認定再生医療等委員会の 所在地及び名称

所在地 愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階

名称 医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会